



てんかんセンター巡り 第12回

浅ノ川総合病院 てんかんセンター

施設概要

住 所 〒920-8621 石川県金沢市小坂町中83
電 話 076-252-2101 (代表)
ホームページ <http://www.asanogawa-gh.or.jp/>

日本てんかん学会 神経内科1名、脳神経外科1名
専門医・指導医

設 備 ビデオ脳波モニタリング2室、3テスラMRI、1.5テスラMRI、
PET-CT、SPECT、定位放射線治療装置(ガンマナイフ、Novalis)

- 受診を希望される場合は診療情報提供書(紹介状)と受診予約が必要です。
- 受診する際は必ず「てんかんセンター」に電話予約してください。

当センターの特徴

てんかんの患者数は総人口の約1%と推定され、北陸3県(石川、富山、福井)には約3万人もの患者さんが暮らしています。このように患者数が多いにもかかわらず、日本てんかん学会認定専門医はわずか8名、専門医になるための研修施設は2つしかなく、てんか

んを専門としない先生方が大多数のてんかん患者の診療にあたっています。このような医療環境においては、てんかん専門センターと近隣の先生方との緊密なネットワークが求められます。

浅ノ川総合病院てんかんセンターは、北陸3県において、てんかんの専門的検査・診断から手術までを一貫して行える唯一の施設で



JEPICA
Japan Epilepsy Center Association
全国てんかんセンター協議会

す。さらに、てんかん専門医を育成できる数少ない研修施設です。診断や治療が難しいために当センターへ紹介される患者数は年間約150名、てんかん手術は最近3年間で54件です。また2010年から保険適応となった、薬剤で発作を十分に抑制できないてんかんに対する迷走神経刺激療法の装置植込術ができるのも、北陸では当センターのみです。紹介患者数ならびに手術件数は、年々増加しています。これは、当センターと他の医療機関との診療ネットワークが、着実に形成されつつあることの証拠といえます。

当センターの利点は組織が小規模であるため、てんかんに精通した各科(小児科、神経内科、精神科、脳神経外科)の医師や看護師、検査技師、ソーシャルワーカーなどが迅速かつスムーズに連携できることです。また、金沢大学ならびに金沢医科大学と良好な協力関係にあり、患者さんにとってよりよい高度医療が提供できる体制が確立されています。

患者さんへのメッセージ

長年にわたって抗てんかん薬を服用しているにもかかわらず、医師から病名を「てんかん」としか告げられていない患者さんが少なくありません。「てんかん」とはいろいろな病気の総称ですから、まず「てんかん」の何という病気かが診断されなければいけません。

てんかんには手術によって完全に治る病気もあります。その代表が、海馬硬化症を伴う内側側頭葉てんかんです。手術によって8割近くの患者さんが、発作から解放されます。できる限り早く手術をするのが理想ですが、この手術を当

センターで最近受けた患者さん50名では、発症から手術まで平均18年間も経過しています。いたずらに病氣とともに時間が経過して、人生のチャンスが限られてしまうのは残念なことです。

また、公費負担、就労支援、障害年金など公的支援について、知らない患者さんも少なくありません。患者さんや家族が、自ら積極的に正しい情報を獲得することが重要です。



当センターでは、「てんかんガイド 第2版」(ホームページから閲覧可能)という小冊子を無料で配布して、てんかんの社会啓発の一助にしています。

(脳神経外科 川村 哲朗)

